



年間報告書 2021

熊本大学基金



熊本大学基金に関するお問い合わせ

熊本大学 基金・同窓会事業室

〒860-8556 熊本市中央区黒髪2-39-1
TEL 096-342-3129、2029 FAX 096-342-3280
E-mail kik-doso@jimu.kumamoto-u.ac.jp
U R L <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>



ファンドレイザー
田村 安都子

Tel.096-342-3804 FAX.096-342-3280
a-tamura@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ごあいさつ



学長
小川 久雄

“地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する教育研究拠点大学”を目指して

熊本大学は、第五高等学校、熊本師範学校、熊本医科大学、熊本薬学専門学校、熊本工業専門学校などを母体とし、昭和24年（1949年）に新たな総合大学として設置されて以降、人文社会科学、自然科学及び生命科学の各分野において、学術研究の発展と社会貢献に取り組んできました。

特に近年は、研究力の更なる向上、産学連携と地方創生の強化、そして国際化を重点的に推し進め、その成果を大学の最も重要な使命である教育に活かしながら、個性ある創造的人材の育成に努めています。

これらの実現には、安定した財政基盤が必要不可欠ですが、本学では、平成19年（2007年）10月に熊本大学基金を設立し、多くの皆様からご支援を賜り、これまで学生の留学、課外活動の支援や学内建物の整備など多岐にわたる事業に充当させていただいています。また、平成28年（2016年）の熊本地震及び昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響を受け生活に困窮している学生への奨学給付金等の経済支援にも活用しています。改めて御礼申し上げます。

本学は、これからも皆様の期待と社会からの要請に応えるべく、教職員一丸となって教育、研究、社会貢献・国際貢献に取り組むとともに、地域の教育研究拠点として教育、文化及び産業の発展に寄与して参ります。

引き続き、ご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。



副学長
甲斐 広文

大学基金は、未来への投資！ —対面の基金活動の意義をコロナ禍で再認識—

2021年度から基金・同窓会並びに地方創生・地域連携担当の副学長を拝命しました。甲斐広文と申します。

就任前は薬学部長として、薬学関連の教育研究、同窓会関連の取り組みを推進して参りました。薬学部長時代には、熊本大学基金を活用して、薬草パーク構想を立ち上げ、薬草園の充実と薬草ガイドブック、彫刻、絵画などが溢れる、いわゆる「アートとサイエンスが共存するキャンパス」へと展開してきました。その経験やノウハウを、これから最大限に活用していきたいと思っております。また、本学薬学部を昭和58年に卒業したOBとしても、全学的な同窓会活動への支援や基金の充実に貢献して参りたいと思っております。

小川学長のもと、多くの方々が、本学の魅力やビジョンに対して、将来を見据えた投資をしたいと思えるような基金活動及び情報発信に尽力していきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

熊本大学基金実績

熊本大学基金は、熊本大学が、地域社会と共同し、知の創造、継承、発展を通じて豊かな未来を拓くことを目的として、平成19年（2007年）に設立されました。これまで、多くの皆様からご支援を賜り、留学支援、課外活動支援、学内建物の整備など、多岐にわたる事業に充当させていただきました。

今後も、皆様から頂戴した貴重なご寄附は、全学的な事業や各学部等の支援事業などを通じて、熊本大学の教育及び研究環境の更なる改善・発展に活用させていただきます。

令和3年度は、個人371名、50法人・団体より
総額約152,236,527円のご寄附を頂戴しました。

| | | |
|-------------|-------------|---------------------|
| 一般資金 | 141件 | 14,185,000円 |
| 特定資金※ | 280件 | 138,051,527円 |
| 寄附総額 | 421件 | 152,236,527円 |

※用途を特定した寄附金

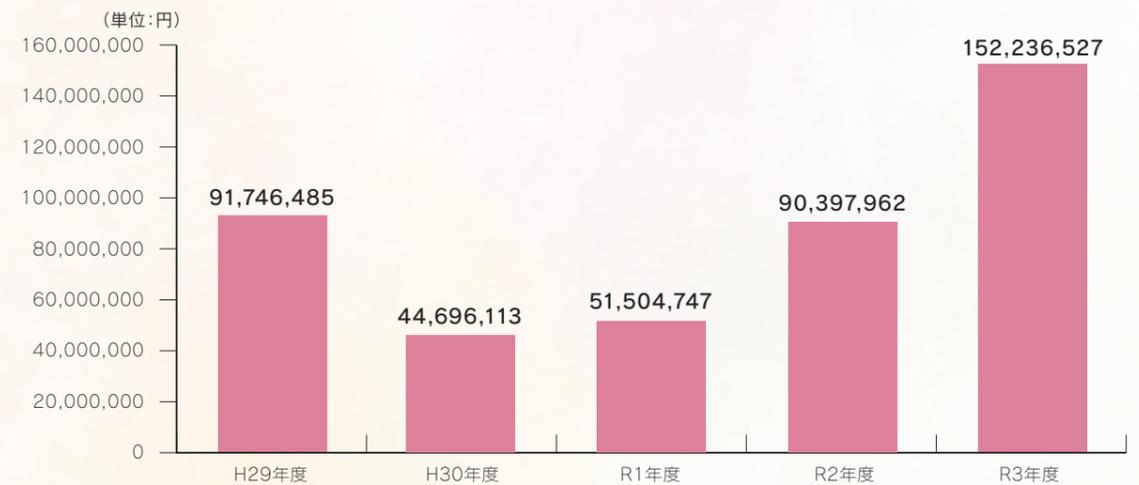
◆寄附累計額

(単位:円)

| H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1,367,948,284 | 1,412,644,397 | 1,464,149,144 | 1,554,547,106 | 1,706,783,633 |

◆平成29年度～令和3年度 基金収入状況比較

寄附金額



(単位:円)

| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 寄附金額 | 91,746,485 | 44,696,113 | 51,504,747 | 90,397,962 | 152,236,527 |

学内食料等支援

令和3年11月2日、黒髪北キャンパス体育館にて約500名の学生に対して、皆様より頂いたご寄附と地域の企業様のご協力により、食品と日用品の無料配布を行いました。コロナ禍でアルバイトができない学生や、ご家庭の経済状況なども踏まえ、支援を希望する学生全てに配布することができました。



(令和3年11月3日熊本日日新聞)

- 学生から寄せられた感謝の声**
- ◆今回は企業さんから提供いただいた食品のバリエーションの多さがとてもうれしく、最後に大きな袋で一律に日用品なども配っていただけて、スムーズに終わった点がとても助かりました。のりやおはんのお供など、自分で買うときに金銭的な理由からためらってしまうものがいただけてとても助かっています。ありがとうございました。
 - ◆すぐに食べられるものから長期保存可能なものまで様々なものをいただけたので、すごく助かりました。また、地元の食品が多く、知らない商品を知る良い機会になりました。
 - ◆前は教育実習中で参加できず、今回初めて参加しました。食料をたくさん頂き、これだけの量を購入するとなかなかの金額になるため、本当にありがたいことでした。お菓子類はなかなか買うことができなかったため、とても嬉しかったです。また生活用品についても、特に生理用品は意外と高く困っており、使う回数に頭を悩ませていたため、ありがたかったです。アルバイトもほぼできていない状況で、また勉強も忙しくなってきたため新しいアルバイトをするというのも生活的に難しく、しかし実家にはあまり負担をかけたくないので、このような支援を企画してくださったことに感謝しております。
 - ◆地元の企業さんが私たち学生に食料配布を行ってくださって、今後は地元の企業の商品を積極的に買っていこうと思いました。今後ともよろしくお願いいたします。

株式会社肥後銀行と包括的連携協定を締結しました

令和3年6月30日に肥後銀行と「地域の持続的発展に向けて」包括連携協定を結びました。学生による地方創生の取組や地場企業と研究者の共同研究のために「肥後未来共創基金」を熊大基金内に設立し、今後5年に渡り総額約1億円のご寄附を頂く予定としております。



HIGOプログラム教育研究支援事業

平成24年度に文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されたグローバルな健康生命科学バイオナリ養成分子プログラムHIGO (HIGOプログラム) は、医学・薬学などを基盤とする健康生命科学の知識と社会文化科学の素養を併せ持ちグローバル(グローバル+ローカル)に様々な課題を解決できる博士人材の育成を行っています。令和3年度は、プログラム発足10周年を迎えたことを記念して、基金により記念誌を発行しました。記念誌では、プログラムにおけるこれまでの取組やプログラム生の研究活動の実績等を紹介するとともに、学外の関係者からも寄稿いただき様々な視点からプログラムの検証を行いました。多くの方にこの記念誌(一部はHIGOプログラムのウェブサイト<https://higoprogram.jp/>に掲載予定)をご覧ください、プログラムの改善・質向上が図られることは、プログラム生への支援につながるにとどまらず、本学における大学院教育改革の一助となることが期待されます。



熊本大学HIGOプログラム運営委員会

熊薬創立135周年記念事業

薬学部は明治18年3月の私立熊本薬学校の設立から数えて、2020年度に創立135周年を迎えることができました。これを記念して、以下の記念事業に取り組みました。



Web版「熊薬135周年記念熊薬ものがたり」



熊薬版 薬草パークガイドブック



宇良田唯博士胸像除幕式



2020年度 新任教授講演会

記念事業

- ◆ 薬学部キャンパス美化・整備事業
- ◆ Web版「熊薬135周年記念熊薬ものがたり」の制作 (<https://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/monogatari/>)
- ◆ 「熊薬版 薬草パークガイドブック」の制作
- ◆ 薬草パーク紹介Web版案内ツールの制作
- ◆ 日本人女性として初めてドイツで医学博士の学位を授与された宇良田唯氏(明治25年卒)胸像の制作

記念行事

- ◆ 2020年度 新任教授講演会
- ◆ 「アートとサイエンスと薬草」の熊薬キャンパスツアー

コロナ禍に実施された熊薬135周年事業でしたが、皆様からの基金は上記の記念事業および記念行事に使用させていただきました。

新型コロナウイルス支援基金

新型コロナウイルスがもたらす、人類最大の課題に対して、熊本大学が総力を挙げてその解決に挑むために、『明日を担う人材育成を支援する一学生支援事業』と『重要課題を解決しようとする挑戦的研究を支援する一研究支援事業』を立ち上げ、多くのご賛同の声とご寄附をいただきました。

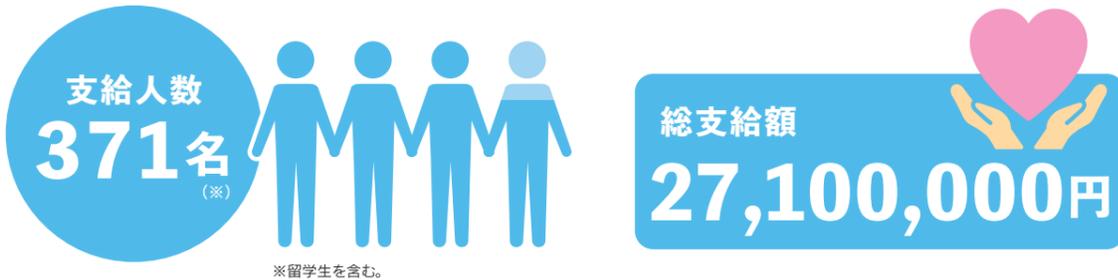
学生支援事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って生じる経済状況の悪化により、大学での学業継続が困難になっている学生に対して、その生活費を支援するものです。

新型コロナウイルス支援基金学生支援事業（アマビエ給付奨学金） 給付金支援を受けた学生の声

支援を受けた学生たちの声から、あたたかいご支援への感謝と厳しい生活の実態が見えてきました。

令和3年度実績



学生から寄せられた感謝の声

私の家庭は、3年前の父の他界後、様々な要因により家計が困窮している状況です。

私は将来、地方公務員として社会に貢献したいと思っておりますが、公務員試験合格に不可欠な生協主催の公務員講座というものがあり、その授業料は高額で、受講するかどうか迷っていましたが、この奨学金のおかげで授業料の一部に充当させて頂くことができ、将来の夢に突き進むことができました。

この度は、熊本大学アマビエ給付奨学金のご支援を頂きまして誠にありがとうございました。

(法学部3年)

新学年では教科書や参考書の費用負担が特に大きく、この度の奨学金をその一部費用に充てさせていただきました。貴重なご支援のおかげで、今年度も勉学に励むことができます。ありがとうございました。

(医学部2年)

初めに、アマビエ給付奨学金に携わって頂いた全ての方々に感謝申し上げます。受給させて頂いた時期は、卒業設計などで忙しくコロナ禍ということもあり、バイトにあまり入れない状況でした。そんな中で10万円もの大金を支給して頂き、学費や資格取得に有効活用することができました。

この度は本当にありがとうございました。

(自然科学教育部博士前期課程1年)

今回給付いただきましたアマビエ奨学金は、一年後に控えている留学のための費用と、留学に向けた語学学習のための資金として活用させていただきました。奨学金をいただいたことの意味をしっかりと考え、自分の目標のためにしっかりと勉強に取り組みたいと思っています。

(文学部2年)

引き続きみなさまからのあたたかいご支援をいただけますと幸いです。

研究支援事業

新型コロナウイルスに関する国内外における重要課題を、経済・社会学、自然科学、生命科学の立場から解決しようとする研究を支援する「アマビエ研究推進事業」を行いました。

ストップコロナ、
みんなでがんばろう



新型コロナウイルス支援基金研究支援事業 アマビエ研究推進事業課題一覧

| | | | | | |
|---|--|--|---|--|--|
| 生命系 | ウイルス感染を防ぐしくみ | 重症化の予測方法を開発 | 重症化の原因を探る | 自然科学系 | 抗ウイルス素材の開発 |
| | DNA損傷応答因子群による新型コロナウイルス感染に対する防御機構 発生医学研究所 講師 立石 智 | COVID-19重症化と治療効果を予測するSARS-CoV-2抗体の同定 大学院生命科学部(医) 准教授 安永 純一朗 | SARS-CoV-2の病態に関与するSタンパク質によるACE2分解経路の機構解明とACE2分解を阻害する治療薬の探索 大学院生命科学部(医) 准教授 前田 洋助 | | 疎水性グラフェン量子ドットを用いた抗ウイルス・抗菌塗料の開発 大学院先端科学研究部(工) 助教 徐 薇 |
| 最適な中和抗体を探す | ウイルスの実態を解明する | 新たな治療薬の開発 | より安全安心なワクチンを | 室内の空気環境チェックを簡単に | 人文社会科学系 |
| 新型コロナウイルス中和抗体の遺伝子改変によるウイルス阻害効果の向上 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 特定事業教員 桑田 岳夫 | RNAヘリケースによるSARS-CoV-2 RNAゲノム複製制御機構の解明 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 特定事業教員 有海 康雄 | Staple 核酸を利用したSARS-CoV-2治療薬の開発 大学院先端科学研究部(工) 助教 勝田 陽介 | 新型コロナウイルスワクチン接種後の免疫応答と細胞外小胞内microRNA 大学院生命科学部(医) 教授 押海 裕之 | 室内空気質のオンデマンド・モニタリングのための小型携帯型CO ₂ センサの開発 大学院先端科学研究部(工) 教授 木田 徹也 | |
| 1 ウイルスの変異株を理解する | 人のウイルスに抵抗する力を解明 | ウイルス感染のしくみを知る | 重症化や治療効果を予測する | コロナ禍のマスク・コミュニケーション | 2 遠隔でのものづくり指導 |
| 「懸念すべき新型コロナウイルス変異株」に対する抗ウイルス免疫応答評価法の開発 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 講師 本園 千尋 | 新型コロナウイルスSARS-CoV-2複製における宿主因子の新しい役割の解明 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 准教授 池田 輝政 | SARS-CoV-2感染のダイナミズムと細胞レベルの分子栄養学に関する研究 大学院生命科学部附属グローバル天然物科学研究センター 助教 岸本 直樹 | 蛍光免疫センサーQ-bodyを用いたCOVID-19特異的修飾ヌクレオチド測定技術の開発 大学院生命科学部附属臨床医学教育研究センター 特任助教 永芳 友 | フレキシブルマイクの開発～withマスク時代の円滑なコミュニケーションを目指して～ 大学院先端科学研究部(工) 准教授 小林 牧子 | ハイブリッド型ものづくり教室と木育指導者養成講座の開発 大学院教育学研究科 教授 田口 浩継 |

成果の紹介

令和3年度の事業として、右記のような成果がありました。

1 ウイルスの変異株を理解する

ウイルスの感染力を高め、日本人に高頻度な細胞性免疫応答から免れるSARS-CoV-2変異の発見

日本人の6割が有するHLA-A*2402拘束性のスパイクタンパク質特異的な主要なT細胞応答を明らかにし、デルタ株に特徴的なL452R変異がHLA-A*2402拘束性T細胞の認識を低下させるだけでなく、ウイルスの感染性も増強することが明らかになりました。この成果は熊本大学においてプレスリリースされ、新型コロナウイルスのT細胞からの免疫逃避の可能性について世界に先駆けて発表することが出来ました。
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/whatsnew/seimei-sentankenkyu/20210616>

SARS-CoV-2ラムダ株のウイルス学的・免疫学的性状の解明

HLA-A*2402を有するワクチン接種者においても、一部のスパイクタンパク質特異的なT細胞はL452Qという変異を持ったラムダ株に対する認識が低下することを見出しました。この成果についても熊本大学においてプレスリリースされました。
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/whatsnew/seimei-sentankenkyu/20211222>

2 遠隔でのものづくり指導

コロナ禍の中、参加できない子供やその保護者のための遠隔によるものづくり教室及び遠隔による指導者養成講座の構築を目的とした事業に取り組みました。具体的には、以下の2項目に付き研究・実践しました。

(1) 子供やその保護者を対象として、事前に教材のキットを送付し、YouTube等で動画を視聴しながらものづくりを提供。60組の家族の参加を得ました。

(2) ものづくり教室用の指導者の養成講座を、ハイブリッド型にして、遠隔・非同期で行う講義を中心とした講座、遠隔・同期で実施する意見交換や講義内容の理解を深める講座、対面で行うものづくり教室を研修の場として活用する実習を中心とした講座に改変し実践。熊本県内外から30名の受講者がありました。

ご寄附をいただいた企業様の想い

※会社名の五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。

社会医療法人愛育会 福田病院

【住所】 熊本県熊本市中央区新町2丁目2-6 【ホームページアドレス】 <https://www.fukuda-hp.or.jp/>

先の見えない長引くコロナ禍で、多くの研究や専門教育の活動を継続されることは大変困難な状況ではないかと思えます。この度の寄附が、熊本大学の歴史や文化、伝統を繋いで努力されている皆様の一助となれば幸いです。



東京エレクトロン九州株式会社

【住所】 熊本県合志市福原1-1
【ホームページアドレス】 <https://www.tel.co.jp/>

学生の皆さんが将来に希望を持ち勉学に励んでいただく一助となれば幸いです。



医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院

【住所】 熊本県熊本市中央区区銅本町4番14号 【ホームページアドレス】 <https://www.itoh-dh.or.jp/>

今年度も微力ながら地域貢献のため、ご協力させていただきました。新型コロナウイルス感染症で、多方面でマイナスの影響が出ております。明るい熊本の未来に向けて有効活用いただければ幸いです。



株式会社肥後銀行

【住所】 熊本県熊本市中央区練兵町1番地 【ホームページアドレス】 <https://www.higobank.co.jp/>

弊行は、2021年6月に熊本大学様と包括連携協定を締結致しました。今回、肥後イノベーション応援プログラムによる共同研究支援、学生様の生活支援の為ご寄附させて頂きました。今後も御学と連携した、地域の持続的発展に寄与してまいります。



株式会社オーファス

【住所】 熊本県熊本市東区月出1丁目7番13号 【ホームページアドレス】 <http://ohfas.co.jp/>

新型コロナウイルスの感染拡大などで、経済的困難に直面されている学生の方々に、わずかでも毎日の生活の安心感に繋がりますようにと願いながら、寄附をさせていただきました。



株式会社双葉金属

【住所】 熊本県熊本市北区改寄町1004番地9(シグマ工業団地) 【ホームページアドレス】 <https://www.futabam.co.jp/>

「険しい山に登るためには、最初にゆっくり歩くことが必要である。
—シェイクスピア」
終わりの見えないコロナ禍でも学生の皆さん、がんばって下さい。



九州産交グループ [九州産交リテール株式会社]

【住所】 熊本県熊本市中央区花畑町4番3号 太陽生命熊本ビル8階 【ホームページアドレス】 <https://www.kyusanko.co.jp/>

新型コロナウイルスの影響により、学びの継続が困難となっておられる学生の皆様の一助になればと切に願います。熊本の未来、そして日本の未来を担う頑張る学生の皆様に心より応援しています。



医療法人社団松下会あけぼのクリニック

【住所】 熊本県熊本市南区白藤5-1-1 【ホームページアドレス】 <http://www.matusita-kai.or.jp/>

私は授業料免除(1969年入学当時の授業料は月千円であったと思いますが)、一般奨学金(ローン)3000円をいただいて熊本大学医学部を卒業することが出来ました。熊本大学には本当に感謝しています。ありがとうございました。



株式会社ケイ・アイ・ステイナー

【住所】 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1熊本大学くまもと地方産業創生センターベンチャー支援室
【ホームページアドレス】 <http://www.kistainer.co.jp/>

熊本大学のさらなる発展に期待しております。素晴らしい研究の進展や優秀な人材育成に微力ながらご活用頂き少しでも貢献できれば幸いです。



ミリーヴ株式会社 [明和不動産G]

【住所】 熊本県熊本市中央区辛島町4-35 【ホームページアドレス】 <https://www.milive.co.jp/>

熊本大学の学生の皆様、コロナ禍により満足いく学生生活を送ることができない状況下、大変辛く悔しい思いをされていることと思います。明るい未来を信じ、精一杯勉学に励んでほしいと心より応援しています。



有限会社坂本石灰工業所

【住所】 熊本県玉名市下273-1 【ホームページアドレス】 <https://sakamoto-lime.com/new/>

昨今の大地震やコロナ禍で思い知らされた事は、地域住民にとってはマクロの経済実体ではなく、ミクロ的な、地域に根ざした経済活動が何よりも大事ということです。これからも地域に必要とされる企業となるべく、努力して参ります。寄附行為はその一環です。



有限会社やま弥

【住所】 熊本県熊本市北区龍田1丁目3-8 【ホームページアドレス】 <https://www.yamaya.biz/>

コロナ禍で苦難の多い世の中ですが、新しい価値観を創造していきましょう。微力ではありますが、心が充たされるよう応援します。少しでも役にたてればと思います。



堤化学株式会社

【住所】 熊本県熊本市北区大塚2丁目8番6号 【ホームページアドレス】 <https://tsutsumi-chem.co.jp/>

寄附金は有効に活用してください。寄附は継続したいと思っています。熊本大学のますますの発展を祈ります。



医療法人社団幸村医院

【住所】 熊本県山鹿市鹿央町合里411

熊本大学と企業との「産学連携」や「共創」による熊本大学の学術レベルの向上を掲げ、熊本大学のみならず熊本県全体の発展を視野に入れて構想を常に考えておられる小川学長に心から敬意を表し、その一助になれば幸いです。



熊本大学基金による大学事業

皆様からのご寄附は、全学的な事業や各学部等の支援事業を通じて、熊本大学の教育・研究環境の改善・発展に活用させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

熊本大学基金

用途を特定されない場合、「全学事業」、「学部・教育部等教育研究支援事業」やその他の必要な事業に充てられます。



※基金の詳細は、熊本大学基金 Web サイトでご確認ください。

全学事業

教育・学生支援事業

国際共同協力事業

研究助成事業

地域貢献・社会貢献活動事業

キャンパス環境整備事業

永青文庫史資料整備事業

五高記念館周辺環境整備事業

修学支援事業 ※税額控除対象

経済的な理由で修学が困難な学生に対して、修学に必要な経済的支援を行うことを目的としています。対象となる事業は、入学料・授業料または寄宿料の一部の免除、学習資金の貸与または支給、学生の海外への留学に係る費用の支援などに活用します。

文書館支援事業

新型コロナウイルス学生支援事業

新型コロナウイルス研究支援事業

小川学長・キャンパスミュージアム事業

附属図書館支援事業

肥後未来共創基金

学部・教育部等教育研究支援事業

武夫原教育・研究支援基金

文学部教育研究支援事業

教育学部音楽棟大型改修及び実習工場改築事業

教育学部教育研究支援事業

法学部教育研究支援事業

社会文化科学教育部教育研究支援事業

理学部教育研究支援事業

医学教育部教育研究支援事業（柴三郎プログラム）

HIGOプログラム教育研究支援事業

医学部医学科教育研究支援事業（くま医もん基金）

薬学部キャンパス薬草パーク事業

薬学部熊本ファーマバレー事業

薬学部教育研究支援事業

工学部教育研究支援事業

病院診療教育研究支援事業

自然科学教育部教育研究支援事業

医学部保健学科教育研究支援事業

発生医学研究所教育研究支援事業

Topic's 注目事業

小川学長・キャンパスミュージアム事業

熊本地震で大きな被害を受けた4つの重要文化財の復旧工事が令和3年（2021年）末に完了したことに伴い、熊本地震からの再興の象徴として、自然と歴史に満たされた熊本大学を一大キャンパスミュージアム化するため、「小川学長・キャンパスミュージアム事業」を推進しています。

このキャンパスミュージアムは、地域だけでなく海外にも開放・開示することにより、世界の人の歴史・文化・伝統の理解と学習に貢献し、教育と文化の発展に寄与することを目指しています。

キャンパスミュージアム構想 今後の予定

- ラッピングバス（実施中）
- 熊本駅コンコース臨時シート広告（4月）
- スケッチ大会 ● シンポジウム
- パネル展示 ● 動画制作
- ホームページ開設 等



熊本駅コンコース臨時シート広告

薬学部キャンパス薬草パーク事業

薬用植物園に関する物品等すべてを本基金で賄うことができるようになりました。設置目的である「多種多様な薬用植物と希少植物を守り、育て、地域の皆様へ開放する」ために、①植物の種苗の購入、②植物の管理に利用する消耗品の購入、③ガソリン、灯油など燃料の購入、④機械の購入と修理、⑤ラベルや案内看板などのハード面の整備、⑥樹木の剪定および害虫駆除、といったことに使わせていただいております。



薬学部
薬草パーク
KUMAYAKU



ホームページが新しくなりました

より見やすく、また情報を分かりやすくお伝えできるホームページとなるように、今回のリニューアルではデザインや構成を一新し、Topicsなどの新たなコンテンツも追加いたしました。基金に関する情報は、今後適宜、ホームページ上で更新していきます。

ここを
click!



各事業の詳細は
Webサイトで
ご確認ください。



<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>

ファンドレイザーを配置しました

熊本大学基金をより多くの皆様を知っていただくために、令和2年(2020年)7月からファンドレイザーを配置しました。継続的な学生支援・研究推進のための財源確保を行うことを目的とし、熊大サポーターの輪を広げるために活動しています。



ファンドレイザー
田村 安都子

これまでの経験や人脈等を生かし、ファンドレイザーとして、熊本大学のサポーターの輪を広げる活動をしています。

熊本大学と、ご支援くださる皆様とをつなぎ、熊本大学の発展に貢献してまいります。

今後とも、あたたかいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

ファンドレイザーとは？

団体などのファンドレイジング(資金調達)を専門に行う職業のことです。その仕事内容は、資金調達だけに留まらず、営業や広報、マーケティングなど多岐に渡り、「大学」と「大学のビジョンや活動内容に共感し、それを応援したい方々」とをつなげ、関係者の輪を広げていく役割も担っています。

寄付について

●遺贈による寄附制度

資産の一部を、将来、遺言によりご寄附されたいという方への制度がございます。制度のご利用を希望される場合は、本紙「お問い合わせ先」までご連絡ください。

●ご寄附の方法

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/howto/index.html>



Webサイトの「寄附申込フォーム」で必要事項をご入力の上、お申込いただけます。最後の画面でお振込先が表示されますので、そちらの口座までお振り込みください。
※別途お振込の手続きが必要になります。



Webサイトから「寄附申込書」をダウンロードして記入後、郵送いただくか、お問合せ先までご連絡ください。折り返し、「振込用紙」をお送りいたします。
※ゆうちょ銀行以外でのATMからのお振込は出来ません。

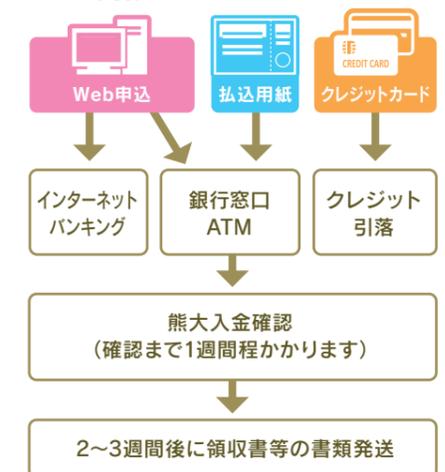


Webサイトの「クレジットカードによるご寄附のフォーム」で必要事項をご入力の上、お申込みください。
※クレジット会社を経由するため大学への入金約1～1.5ヶ月後となります。

【クレジットカードによるご寄附について(ご注意)】

確定申告時に必要となります「寄附金領収書」に記載する日付は大学への入金日となりますので、予めご承知ください。特に、11月～12月にクレジット寄附をされる場合、「寄附金領収書」の日付が翌年となる場合がありますので、ご注意ください。

●ご寄附の流れ



●古本募金



本募金は、皆様からの書籍やCDを、大学が提携する取扱業者にお送りいただき、その売り上げを大学への寄附金として募金していただくものです。

<https://www.charibon.jp/partner/kumamoto-u/>



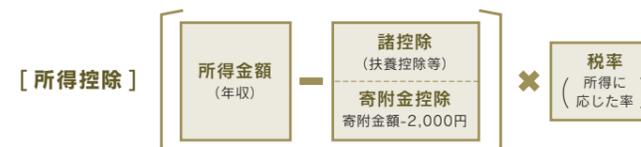
●税制優遇制度

(1) 個人様

1. 所得税の優遇措置

本学は、財務大臣から、特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)の指定を受けていますので、年間合計額が2,000円を超える場合は優遇措置が適用されます。

なお、全学事業の「修学支援事業」へのご寄附の場合は、通常の「所得控除」以外に優遇性の高い「税額控除」も適用でき、寄附者様において確定申告の際にいずれか有利な方をお選びいただけます。



2. 住民税の優遇措置

お住まいの自治体の条例で、本学が「寄附金税額控除対象法人」に指定されている場合は、個人住民税の優遇措置が適用されます。詳細は、お住まいの都道府県及び市区町村の税窓口にお問い合わせください。

(2) 法人・団体様

本学は、財務大臣から、指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)の指定を受けていますので、全額を事業年度の損金に算入することができます。

紺綬褒章

ご寄附が、個人様500万円以上、法人・団体様1,000万円以上の場合は、国の褒章制度である「紺綬褒章」の対象となります。「お問い合わせ先」までご連絡ください。※国の審査があります。

Webサイト及び熊大広報誌掲載

熊本大学Webサイト熊本大学基金のページ及び季刊の大学広報誌「熊大通信」にご芳名を掲載させていただきます(掲載希望者のみ)。なお1回あたりのご寄附が5万円以上の場合は、寄附金領収書とともに「熊大通信」をお送りします。

銘板の掲示

ご寄附累計額が、個人様20万円以上、法人・団体様50万円以上の場合、ご芳名の銘板を本学の本部棟正面玄関に掲示させていただきます。(掲示希望者のみ)